

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリオ鶴沼海岸 新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県藤沢市鶴沼海岸一丁目5218番328	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年1月25日
敷地面積	1,572㎡	作成者	一級建築士事務所 共同エンジニアリング株式会社
建築面積	629㎡	確認日	2022年1月25日
延床面積	2,797㎡	確認者	一級建築士事務所 共同エンジニアリング株式会社

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南海岸沿いの国道134号線に面する特別な立地にふさわしい、シーサイドリゾートとしての理想的な設えのプレミアムレジデンス。</li> <li>・海の顔と街の顔。2つの外観・エントランスをつくる。</li> <li>・土地の記憶を継承し育む。既存樹木の保全と利用。</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> 専有部分について、T-2サッシを採用し、断熱等性能等級4としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 空調給排水配管の更新対策に配慮し、階高にゆとりを持たせた設計としている。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 0	
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等性能等級4、建物全体BEI=0.88としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS下地を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出率95%とし、光害抑制に配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される